

当院で病理解剖された胎児患者さんの椎間板組織を用いた 医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 整形外科学教室 職名 准教授
氏名 松本 守雄
連絡先電話番号 03-5363-3812

実務責任者 所属 整形外科学教室 職名 助教
氏名 藤田 順之
連絡先電話番号 03-5363-3812

このたび当院では、当院で病理解剖された胎児患者さんの椎間板組織を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

1980 年 1 月 1 日より 2014 年 12 月 31 日までの間に、当院にて死亡された胎児で、病理解剖された方

2 研究課題名

承認番号 20140333

研究課題名 ヒト脊索由来髄核における各種遺伝子発現の検討

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部整形外科学教室

共同研究機関 研究責任者者

慶應義塾大学病理学教室 岡田 保典

4 本研究の意義、目的、方法

椎間板は外側に線維輪、内側に髄核という組織からできています。髄核は胎生期の脊索から分化す

ることが知られていますが、青壮年期には脊索由来の髄核細胞は消失してしまいます。この現象が将来的な脊椎変性疾患や腰痛の原因になっていると考えられており、我々は出来るだけ脊索由来の髄核細胞が残るような治療法を開発しております。本研究では胎児期の椎間板の髄核ではどのような遺伝子が発現しているかを組織切片で検討することにより、これらの治療法の開発の助けにしたいと考えています。

5 協力をお願いする内容

本研究では、当院で亡くなられ、病理解剖された胎児患者さんから摘出された脊椎の椎間板組織を提供して頂きます。

6 本研究の実施期間

2015 年 1 月 1 日~2018 年 12 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名および患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの脊椎の椎間板は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した脊椎の椎間板を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方の代理人より、試料・情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

研究機関名：慶應義塾大学医学部整形外科学教室

住 所：〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

電 話：03-5363-3812（直通） FAX 03-3353-6597

E-Mail nfujita@a7.keio.jp

担当者氏名：藤田 順之（フジタ ノブユキ）

以上